

ズーム・アップ・カメラ・アイズ

新設した路面電車 「ポートラム」

Portram—A new LRT

(富山県・富山市)

Consultant
会誌編集専門委員会

2006年4月29日、路面電車が富山市で営業を開始した。開通した路線のうち1.1kmは、道路併用軌道部として国内では58年ぶりに新設された。残りは2月末までJR西日本が運営していた富山港線の専用軌道6.5kmを利用している。路面電車といってもいわゆる「チンチン電車」ではなく、フランスの技術と車両を導入した最新の低床式「LRT(ライトレールトランジット)」である。路面電車には「ポートラム」の愛称が付き、車両・駅・シンボルマークなどのデザインが統一されている。

1—復権しつつある路面電車

日本で最初の路面電車は、1895年(明治28年)に開通した京都市電(当時は京都電気鉄道)である。その後、各地で路面電車が整備されたが、自動車の普及が進んだ1960年代には道路渋滞の元凶とされ、廃止される一途であった。しかし近年、環境にやさしい・バリアフリー化・地域活性化などの観点から、新交通システムLRTとして見直され、特にヨーロッパ諸国で広まっている。日本においても今後の導入構想を持つ都市は多い。富山市のポートラムはその先駆けとして位置づけられる。

2—ポートラムの計画

富山駅の北陸新幹線整備と在来線の高架化を進める上で、JR西日本がレールバスで運営していた富山港線(富山～岩瀬浜)は利用者の減少に



■写真1—4月29日「富山駅北」駅における出発式(写真:富山ライトレール株式会社)

歯止めがかからず、バス代替による廃止案を含めた存続の是非が議論されていた。比較検討してみると、社会的便益は路面電車化案が最大となることが分かった。これを受けて、公共交通の質を高め都市機能を集約した「コンパクトなまちづくり」を目指す富山市は、中心市街地の活性化に大きな役割を果たす路面電車化案を採用した。

富山駅北口市街地へのアクセス向上などを目的に、富山港線の専用軌道の一部を廃止し、道路併用軌道を新たに敷設した。また、利便性を高めるために新駅を5箇所設置し、低床式車両導入に伴い旧駅は改築された。

3—現地を訪れて

富山駅北口を出ると左手にポートラムの起終点「富山駅北」駅がある。機能的でとてもシンプルである。道路併用軌道の一部では景観に配慮し、芝生軌道を採用している。オランダで見られるものと同じであり、利用客には評判がいいらしい。ただし、週に数回、水撒きが必要と聞く。



■図1—路線概要図(出典:「富山港線の事業概要」富山市 平成18年4月)



■写真2—起終点である「富山駅北」駅と芝生軌道(写真:米岡威)

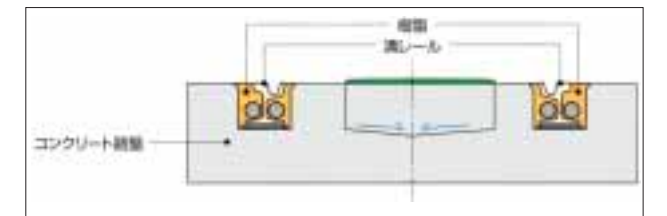
■写真3—オランダ・ロッテルダム近郊の芝生軌道(写真:塚本敏行)

■写真4—既存区間を利用した専用軌道にある「東岩瀬」駅。左が旧駅、右が新駅ホームで、段差の違いが分かる(写真:米岡威)

「富山駅北」から二つ先の「奥田中学校前」までが道路併用軌道部である。この区間では交差点もあり、スピードは控えめだが、専用軌道部に入ると60km/h近くの速度を出す。乗り心地は快適である。単線であり、途中のいくつかの駅で、すれ違いのために少し待つ。ほぼ15分間隔のダイヤは利用しやすい。「東岩瀬」には旧駅が残っており、低床式車両による新駅との高さの違いを実感できる。そして、なにか新しい乗り物のように見えるフランス製の2両編成の車内は、いたってシンプルである。

4—レールの構造

道路併用軌道部のレールは、コンクリート路盤に樹脂で固定する「樹脂固定軌道」と道路路面との溝幅が小さい「溝レール」を採用し、騒音・振動の低減、メンテナンス性・排水性の向上を図っている。フランスから輸入された長さ10mほどの特殊な溝レールを、曲線部ではローラー加工して溶接で繋げ、継ぎ目のないレールとして敷設している。レールは樹脂の中に埋め込んでおくだけで、ボルトで固定していない。樹脂にはコルク片を混ぜた特殊樹脂を用い、クッションの役目も持たせている。特殊樹脂は高価なことから、レールの両側に塩化ビニール管を入れて、樹脂の使用量を節約するなどの工夫が凝らされている。



■図2—道路併用軌道断面図(出典:「富山港線の事業概要」富山市 平成18年4月)

レールの耐用年数は約30年とのことである。カーブの外側レールには磨耗低減のため、硬度が増す特殊加工が施されている。溝レールの道路併用軌道と通常のT型レールの専用軌道との接合部には、中継レールを入れて対応させている。

5—今後

現在JR富山駅では、北陸新幹線乗入れに伴い在来線も含めた高架化工事を実施中である。ポートラムは、その高架下を通り、富山地方鉄道市内線との接続が計画されている。これにより南北軸が構築され、富山市内の公共交通ネットワークが拡充されることになる。ポートラムはその第一歩ともなっている。

6月10日は路面電車の日ということで、各地でイベントが行なわれるようでもある。一度乗りに行ってみてはどうだろうか。

(文章:塚本敏行)

<参考資料>

- 1) 「富山港線の事業概要」富山市 平成18年4月
- 2) 「富山ライトレール株式会社」ホームページ (<http://www.t-lr.co.jp/>)
- 3) 「ライトレール脚光」朝日新聞記事 2006年9月2日

<取材協力>

- 1) 富山ライトレール株式会社



■写真5—フランス製「ポートラム」の車内(写真:塚本敏行)



■写真6—道路併用軌道の敷設(写真:富山ライトレール株式会社)



■写真7—「奥田中学校前」駅付近の道路併用軌道と専用軌道の中継レール部(写真:塚本敏行)